

守りつなげる私たちの税

サレジオ学院中学校3年 重元 孝徳

僕は、広島県で生まれた。祖父母のいる広島は僕にとって、憩いの場であり、人気の観光地であり、自然豊かな場所でもある。そのような広島県で独自に導入されている税の中で印象に残るものを二つ紹介したい。

一つ目は、宮島訪問税。この税金の魅力は斬新さだ。オーバーツーリズムや観光客訪問のための施設整備から導入に踏み切られた。導入している地域がほとんどない税で、オーバーツーリズム解決への一歩を先頭を切って示したものである。集めた税収は宮島をより持続可能な観光地とするために用いられる。僕自身、宮島は部活の合宿でも訪れた思い出深い場所だ。さらに、平家とのつながりが深い厳島神社は、日本の歴史上重要な場所であり、かつ美しい景観を楽しめる地でもある。この導入を通して大切な景色、歴史的な地を守り、加えて災害などにも耐えられる、住む人にも訪れる人にもやさしい宮島を維持し、作り上げてほしい。そして、この訪問税を全国のオーバーツーリズムが深刻化している地域に導入したら、問題の解決の一歩となるのではないか。

二つ目は、ひろしまの森づくり県民税だ。県土の保全、水源涵養などの役割を担う重要な資源の森林を守り育て、次世代へ引き継ぐことを目的とした、この税金。集めた税収は人工林や里山林の対策・森林資源の利用促進等に用いられる。僕の祖父母の家からは武田山が見える。窓一面に広がる大パノラマに僕は幾度癒されたことだろう。この税金は広島県の緑を守ること、そして僕のなつかしの風景を守るとても大切なものであると感じた。

これらの税を通して僕が感じたことは、税金の在り方についてだ。森林の減少、さらには最近目立つ観光に関する問題。個人や民間企業の枠組みでは対処しきれないような問題の解決、そしてそれによってより良い結果をもたらすために税金はあるのだと感じた。税金は私たちの暮らしを支え、住みやすく、豊かな生活を後押ししている。そして、僕が喜ばしいと感じたことは、そのような流れが広島だけでなく、他の地域や全国にも広がっているということだ。オーバーツーリズムの面では竹富町が訪問税導入を検討、高野山も入山税の徴収を検討している。また、森林の保全面では、全国的に森林環境税が導入された。県や市で森林保全のための税が導入されている地域もあるようだ。この二点だけでなく、現実社会に存在する様々な細かい問題も税金で解決できるのではないか。

僕の故郷、広島県では今日も様々な人が行き交っている。そして、望めば誰でも足を踏み入れることができる。僕が訪れた場所がいつまでも同じような姿で迎えてくれるように、僕を癒してくれる自然がいつまでも変わらず残り続けていくことを、心から願っている。